

令和元年度 第5回 厚生連廣島総合病院 治験審査委員会  
会議の記録の概要

開催日時	令和元年 9月 20日 (金) 16:18~16:23
開催場所	3階 小会議室
出席委員	徳毛宏則、中光篤志、黒木一彦、橋本佳浩、福岡達仁、川上多聞、山下寿実、 向井恵子、松本明子、磯貝明彦
<p>1) バイエル薬品株式会社の依頼による下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした リバーロキサバンの第III相試験 (VOYAGER PAD) (バイエル薬品) 継続審査 治験の継続について審議された。 ・依頼者から報告された安全性情報 上記について引き続き治験を実施することの妥当性について審議を行った。 審議結果：承認 報告事項：迅速審査にて承認された、治験に関する変更申請について</p> <p>2) ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による左室駆出率が低下した日本人慢性心不全患者を対象 としたLCZ696の第III相試験 (ノバルティスファーマ) 報告事項：厚生連病院共同治験審査委員会にて承認された、治験に関する変更、安全性情報について</p> <p>3) (治験国内管理人) IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による駆出率が低下した慢性心不全患者を対 象としたエンパグリフロジンの第III相試験 (ベーリンガー インゲルハイム) 報告事項：厚生連病院共同治験審査委員会にて承認された、治験に関する変更、安全性情報について</p> <p>4) 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する 第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験 (フェリングファーマ) 報告事項：厚生連病院共同治験審査委員会にて承認された、治験に関する変更、安全性情報について</p> <p>5) (治験国内管理人) IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による駆出率が低下した慢性心不全患者を 対象としたエンパグリフロジンの第III相試験 (ベーリンガー インゲルハイム) 報告事項 厚生連病院共同治験審査委員会にて承認された、安全性情報について</p> <p>6) 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者にFE 999315を8週間投与した際における有効性及び安全性を評価する 第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験 (フェリングファーマ) 報告事項 厚生連病院共同治験審査委員会にて承認された、安全性情報について</p>	